

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月16日

計画の名称	福崎町における快適でうるおいのあるまちづくり												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	福崎町												
計画の目標	生活環境の改善、公用水域の水質保全及び浸水の防除を目的とし、下水(汚水・雨水)排除に必要な施設の整備を住民の理解を得ながら推進し、望ましい水循環・水環境づくりに努めます。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	864	A	863	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.11	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	福崎処理区における下水道処理人口普及率を約100%にまで引き上げることを目標に整備を進める。 下水道処理計画区域面積のうち整備済み面積の割合。 下水道処理整備率 = 整備済区域面積(ha) / 計画区域面積(ha) (684ha)	82%	90%	100%
2	下水道による都市浸水対策の達成率を3%(H27)から6%(H31)に増加。 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策の達成率 = 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域面積(ha) (169ha)	3%	4%	6%
3	長目処理区(コミュニティプラント)を公共下水道へ統合することにより、福崎町における効率的な汚水処理を図る。 コミュニティプラント処理場1施設の統合を図る。 統合率 = 統合済コミプラ施設数 / 全コミプラ施設数	0%	0%	100%
4	持続可能な下水道事業の実施を図るため、「ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。 処理場のストックマネジメント計画を策定する事業計画数。 策定率 = 事業計画数(計画) / 全事業計画数(計画)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠(汚水)	新設	市川右岸第2分区面整備 工事(未普及解消)	汚水管 300 A=120ha	福崎町						139	-	
	A07-002	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠(雨水)	新設	市川排水区(浸水対策)	幹線渠工事 L=6,120m	福崎町							591	-
	A07-003	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠(汚水)	改築	市川左岸第3分区統合汚水管	汚水管 100~150mm A=8.6ha	福崎町							109	-
	A07-004	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	-	-	福崎町下水道施設(ストックマネジメント計画)	計画策定・改築更新 1処理区	福崎町							21	-
	A07-005	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠(雨水)	新設	市川排水区(浸水対策)	効率化計画(直谷川浸水対策)	福崎町							3	-
												小計						863	
											合計							863	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	-	-	ハザードマップ作成	市川流域におけるハザードマップの作成	福崎町						0	-		
		ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																		
	C07-002	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	-	-	防災訓練実施支援	防災訓練実施用の備品購入	福崎町						1	-		
		災害発生時の避難行動を訓練するとともに、内水対策に関する啓発・訓練を行い、災害発生時における被害の軽減を図る。																		
											小計						1			
											合計						1			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本町、上下水道課内部で実施する。	令和3年度
	公表の方法
	本町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道（污水）処理整備率が100%に達し、污水整備は概成した。 ・7年確率降雨に対する整備を進め、浸水頻発箇所の解消に繋がっている。 ・コミュニティプラント（長目地区）を廃止し、公共下水道への統合が完了した。令和元年6月1日供用開始。 ・福崎町下水道施設ストックマネジメント計画を策定し、同計画に基づく対策工事に着手している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティプラントの統合により、年間5,500千円程度の経費削減に繋がっている。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・污水整備については、末端部等において未整備部分があるため、状況変化に合わせ整備を検討する。 ・雨水整備は継続して整備を進め、浸水解消を目指す。 ・農業集落排水の公共下水道への統合を検討する。 ・策定した福崎町下水道施設ストックマネジメント計画を時点修正しながら、持続可能な下水道事業を模索する。 ・ハザードマップについては、当面浸水実績図を活用しながら、雨水整備に目途が立ってから作成を検討する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理整備率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	7年確率降雨に対する整備率	
	最終目標値	6%
	最終実績値	17%
用地提供など地域住民の協力を得られ、順調に工事が進捗した。全体計画428haのうちストックマネジメント対象120haを除く308haに対し、53ha約17%の整備が完了。		
3	統合完了率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	事業計画策定率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%